

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 アルゼ株式会社  
 コード番号 6425 URL <http://www.aruze.com>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報室  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 徳田 一  
 (氏名) 高田 泰男

TEL 03-5530-3055

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	12,272	138.5	1,527	—	△564	—	△1,261	—
21年3月期第1四半期	5,146	—	△3,558	—	△2,931	—	△4,115	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△15.79	—
21年3月期第1四半期	△51.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	147,838	113,393	76.6	1,416.79
21年3月期	145,761	112,838	74.7	1,362.23

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 113,250百万円 21年3月期 108,889百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	22,000	107.7	2,000	—	2,000	—	1,500	—	18.76
通期	58,000	190.1	12,000	—	12,000	—	7,000	—	87.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名

) 除外 3社 (社名

アルゼマーケティングジャパン株式  
会社、Aruze Gaming America, Inc., A )  
ruze Gaming Australia Pty Ltd

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 80,195,000株 21年3月期 80,195,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 260,401株 21年3月期 260,363株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 79,934,613株 21年3月期第1四半期 79,934,902株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### [業績の概要]

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、米国金融不安から派生した、世界的な景気停滞の影響が続いており、依然として不安定な状況となっております。

その様な中、5月に販売を開始したパチスロ機『緑ドン』は6月末には累計30千台の受注高に達し、その後も受注台数を伸ばしています。

このことから、当第1四半期連結会計期間における売上高は12,272百万円（前年同四半期比138.5%増）となり、営業利益は1,527百万円（前年同四半期 営業損失3,558百万円）となりました。以上により、当社は赤字体質を脱却いたしました。

しかしながら、営業外損益において、当社グループの持分法適用関連会社であるウィン・リゾーツ社(NASDAQ:WYNN)が昨年クリスマスに開業したラスベガスにおける新しいホテルタワー「アンコール・アット・ウィン・ラスベガス」の開業負担による損失を計上した影響により約6億円、過去に同社が自己株を取得したことにより発生したのれん相当額の償却により約9億円、その他為替差損等により、合計2,201百万円の営業外費用を計上したことにより経常損失は564百万円（前年同四半期 経常損失2,931百万円）となりました。なお、ウィン・リゾーツ社は第2四半期(2009年4～6月期)においては黒字へと回復しております。

また、特別損失においては、ウィン・リゾーツ社が増資をしたことに伴い、持分変動損失366百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は1,261百万円（前年同四半期 四半期純損失4,115百万円）となっております。

なお、当社グループの事業別の業績概要は以下の通りです。

#### ①パチスロ・パチンコ事業

パチスロ・パチンコ事業におけるパチスロ機の市場環境は、本年第1四半期の市場全体のパチスロ導入台数（新台）は約196千台であり、前年比同期約98.6%<sup>注1</sup>の水準となっております。

パチスロ・パチンコ業界では、前事業年度においてMAXタイプのパチンコ機の高稼働を主要因として、高収益をあげるホール経営会社も数多くありましたが、今期に入り、パチンコ機におけるユーザー離れが顕著となり、厳しい状況となっております。

そのような環境の中、5月下旬に出荷を開始したパチスロ機『緑ドン』は5号機では秀逸の特性を有する機械との評判も高く、第1四半期における全国のパチスロ機導入台数としては、No.1のヒット機種となりました。

また、『緑ドン』が5号機パチスロ業界を牽引し、パチスロ機の稼働上昇など、大きな業界変化をもたらす程の実績を上げ、当社は5号機パチスロ業界においても、確固たる足場を築き上げました。

以上のことより、当第1四半期連結会計期間におけるパチスロ機の販売及び設置台数は27.4千台、ソフト交換サービスは0.7千台、合計28.1千台となっております。

注1 当社グループ調べ

#### ②その他の事業

アルゼグループのメディアコンテンツ事業の主体会社であるアルゼメディアネット株式会社では、主力事業の携帯コンテンツサービスを更に強化するため、アルゼ株式会社内のコンテンツ開発・制作機能を吸収し、原価圧縮と作業の効率化を図りました。また、パチスロ機「緑ドン」の発売に連動した、積極的なコンテンツ展開が、有料会員の増加へとつながりました。

スカイパーフェクトTV!専門チャンネルとして「パチンコ★パチスロTV!」を放送する日本アミューズメント放送株式会社は、視聴者の方々のニーズに応える番組づくりのため、制作体制及び制作プロセスの見直し等を行いました。また、ネット配信等による二次配信事業の拡大を通して、番組ファンの拡大に尽力しました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、147,838百万円（前期末比2,077百万円増）となりました。主な増減要因は、為替の変動に伴い土地が1,214百万円、投資有価証券が1,526百万円増加したことなどであります。

負債は34,445百万円（前期末比1,522百万円増）となりました。主な増減要因は、借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が4,216百万円増加したことなどであります。

純資産は113,393百万円（前期末比555百万円増）となりました。主な増減要因は、株主資本のうち利益剰余金が1,262百万円、少数株主持分が3,799百万円減少したものの、株価や為替などの変動から生じる評価・換算差額等が5,624百万円増加したことなどであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

#### ①パチスロ・パチンコ事業

創業40周年を迎える今期、パチスロ機につきましては、営業の情報収集を基として人気の基軸を反映した機械や、市場のニーズにマッチした機械の投入で、市場シェア回復を目指しております。その中で市場投入された『緑ドン』は、本年最も市場導入されている機械（平成21年7月時点）であり、絶大な支持を受けています。

次機種としては、20年以上小説等で愛された『銀河英雄伝説』の著作権を活用したパチスロ機の投入を行います。M.B.S（マシンガンボーナスシステム）と称される業界初の機能を搭載し、『緑ドン』よりも1,000～2,000枚クラスの出現頻度が高く、出玉感をより一層体感できる機種となっております。

なお、『銀河英雄伝説』のキャンペーンの一環として、『青ドン』『赤ドン』を以前に納入させていただいたホール店舗様へは『アルゼ40周年』の感謝の気持ちも込め、低価格での提供を予定しております。

また、11月納入予定の『青ドン2』はパチスロ市場で支持率の高いキャラクターである『ドンちゃん』を擁し、4号機時代の『ハナビ』の流れをくむ“匠”と5号機『青ドン』の流れをくむ“極”の2タイトルを投入する予定です。

なお、パチンコ機につきましては、新規性があり市場競争力のある製品の投入を図り、通期50千台の導入を計画しております。

#### ②その他の事業

アルゼメディアネット株式会社では、既存事業の更なる拡大とともに、新規コンテンツの開拓及びメディア展開のプロデュースに注力していきます。また、親会社に依存しない強い経営体制作りを進め、グループのメディアコンテンツ事業成長への“種まき”を行ってまいります。

また、日本アミューズメント放送株式会社では、今春実施した視聴者アンケートの結果等をふまえ、10月からの番組編成を大幅に見直します。さらに、ライフスタイル等に合わせた視聴方法の多様化に対応し、視聴者及びファンの拡大に努めてまいります。

カジノリゾート事業につきましては、フィリピンにおいて、広大な敷地に約2万㎡の世界最大級のカジノを核とした、33階建てのホテルに加え、スパ・水族館・大観覧車・コンベンションホール等が揃ったアルゼグループ独自の総合カジノリゾートを計画しております。

用地取得は、既に平成20年7月に済み、現在基本設計を終えております。平成22年夏までに建築見積もりを完了し、工事着工の予定であり、平成25年夏開業予定としております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間より、アルゼマーケティングジャパン株式会社は当社が吸収合併したため、Aruze Gaming America, Inc.、及びAruze Gaming Australia Pty Ltdは、当社が保有する株式をすべて売却し、主要な取引を解消したことなどにより連結の範囲から除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,742	14,448
受取手形及び売掛金	8,344	5,552
有価証券	136	132
商品及び製品	966	3,254
仕掛品	2,865	3,762
原材料及び貯蔵品	19,501	17,649
その他	7,382	7,622
貸倒引当金	△153	△116
流動資産合計	52,787	52,305
固定資産		
有形固定資産		
土地	34,849	33,635
その他	7,273	7,913
有形固定資産合計	42,123	41,548
無形固定資産		
のれん	373	410
その他	312	356
無形固定資産合計	686	766
投資その他の資産		
投資有価証券	48,498	46,972
その他	6,204	6,663
貸倒引当金	△2,462	△2,494
投資その他の資産合計	52,240	51,141
固定資産合計	95,050	93,456
資産合計	147,838	145,761

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,276	1,060
短期借入金	17,670	20,063
1年内返済予定の長期借入金	584	783
1年内償還予定の社債	1,100	1,200
未払法人税等	63	162
賞与引当金	243	169
その他	5,780	5,509
流動負債合計	30,718	28,949
固定負債		
社債	2,000	2,000
その他	1,726	1,974
固定負債合計	3,726	3,974
負債合計	34,445	32,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,446	3,446
資本剰余金	7,503	7,503
利益剰余金	116,937	118,199
自己株式	△1,637	△1,637
株主資本合計	126,250	127,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13	5
為替換算調整勘定	△13,012	△18,628
評価・換算差額等合計	△12,999	△18,623
新株予約権	142	149
少数株主持分	—	3,799
純資産合計	113,393	112,838
負債純資産合計	147,838	145,761

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,146	12,272
売上原価	2,796	6,748
売上総利益	2,350	5,524
販売費及び一般管理費	5,909	3,997
営業利益又は営業損失(△)	△3,558	1,527
営業外収益		
受取利息	52	46
受取配当金	206	7
持分法による投資利益	895	—
その他	65	56
営業外収益合計	1,220	109
営業外費用		
支払利息	33	232
為替差損	541	391
持分法による投資損失	—	1,565
その他	17	12
営業外費用合計	593	2,201
経常損失(△)	△2,931	△564
特別利益		
前期損益修正益	27	103
固定資産売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	88	61
その他	24	22
特別利益合計	145	187
特別損失		
前期損益修正損	24	—
減損損失	32	—
持分変動損失	—	366
その他	0	5
特別損失合計	56	371
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,842	△748
法人税、住民税及び事業税	411	12
法人税等還付税額	—	△58
法人税等調整額	861	559
法人税等合計	1,273	513
四半期純損失(△)	△4,115	△1,261

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。